

セクシュアリティって何だろう？

1 学習対象

中学生

2 ねらい

セクシュアリティの多様性や性的マイノリティについて理解を深め、「その人らしさ」を大切にする態度を育てる。

3 準備するもの

- 動画視聴用PC（YouTube を視聴できるもの）
- ワークシート

4 解説

様々な人権課題の中で、性的マイノリティについても近年取り上げられるようになってきました。令和2（2020）年に実施された民間の調査では、性的マイノリティの出現率は8.9%との報告もあり、この割合を学校に置き換えると、クラスに3～4人は性的マイノリティの児童・生徒が在籍することになります。まずは「この教室にも『性』について悩んでいる子がいるかもしれない」という視点を持ち、「性」についての正しい理解と、違いを認め、違いがあって当たり前であるという基盤づくりが大切です。

中学生は思春期に入り、他者に対する性的な関心が芽生える時期です。この時期に自分の「性（セクシュアリティ）」について理解するとともに、「性的マイノリティ」について理解し、お互いにその人らしさを認めようとする意識を育むことをめざしましょう。

また、既に自分の性別や性的指向に違和感を抱いている生徒がクラスにいるかもしれないということを念頭に置き、授業を行う際には事前に授業の内容等を保護者や生徒に知らせておく必要があります。

5 進め方（展開例） 50分

時間	学習の流れ（活動・内容）	留意事項	資料など
導入 10分	<p>◆学習の確認（3分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の流れや留意点の説明を聞く。 <p>◆アイスブレイキング（7分）</p> <p>「盛りだくさん自己紹介」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3～4人で1つのグループになり、自分のことを1分間で相手にいくつ伝えられるかを競う。いくつ言えたか右隣の人が数える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の流れを簡単に説明する。 ・P4【学習の約束】を伝える。 <ul style="list-style-type: none"> ・1分間考える時間をとる。 （例） 名前、学校、好きな食べ物、将来の夢 等 	
	<p>・活動をとおして、挙げられた一つ一つがその人を構成する要素であり、一人ひとりに、要素がたくさんあることに気づく。</p>		

展開 35分	<p>◆アクティビティ（35分） 「セクシュアリティって何だろう？」 アクティビティ1 「セクシュアリティについて考えよう」</p> <p>①ワークシートを基にして、性別によるイメージを書き、グループで出し合い、その理由を共有する。</p> <p>②セクシュアリティについての説明を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを配付する。 ・「セクシュアリティ」も一人ひとりを構成する要素の一つであることを伝える。 ・性別によるイメージは人によって違うことを感じるとともに、性別によるイメージはだれに対してもあてはまるものではないことを確認する。 ・ワークシートの〈性のとらえ方〉の部分を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート
	<p>・活動をとおして、男性、女性の境が「体の性」以外は曖昧であることに気づき、同時に「男性らしさ」「女性らしさ」という概念がとても曖昧なものだということに気づく。</p>		
	<p>アクティビティ2 「性的マイノリティについて考えよう」</p> <p>③性的マイノリティについて説明を聞く。</p> <p>④法務省の人権啓発ビデオ「あなたがあなたらしく生きるために」を一部視聴する。【約8分】</p> <p>⑤どうしたらあなたの学校で性的マイノリティの方が安心して過ごせるか、グループで話し合う。</p> <p>⑥「カミングアウト」と「アウティング」についての説明を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを基に説明する。 ・4:32～12:19の約8分間を視聴させる。 ・道徳的な側面だけではなく、学校内の環境でも気づいたことを話し合えるとよい。 ・カミングアウト後に起こりうる問題（アウティング等）について、丁寧に説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動画
まとめ 5分	<p>◆まとめ（5分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業をとおして、わかったことや、まわりの人の感じたことをワークシートに書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業をとおして生徒から出された考えや記述をもとに、ねらいをおさえ、まとめる。 	
<p>・セクシュアリティはそれぞれの人を構成する要素の一つであり、「自分らしさ」や「その人らしさ」の一つである。性的マイノリティに対する差別的な表現は「その人らしさ」を奪ってしまうことになる。「傷つく人がいるかもしれない」という気持ちを忘れず、「その人らしさ」を大切にする言動を心がけていく。</p>			

<参考資料など>

人権啓発ビデオ「あなたがあなたらしく生きるために 性的マイノリティと人権」 法務省

<https://www.youtube.com/watch?v=G9DhghaAxlo>

「人権学習ワークシート集 一人権教育実践のために 第16集（小・中学校編）」

神奈川県教育委員会（令和2年3月）

「性的マイノリティについて理解する～あなたが相談されたらどうしますか？～」

神奈川県教育委員会行政課（令和元年11月）

https://www.pref.kanagawa.jp/documents/5844/seimai_r2.pdf

セクシュアリティって何だろう？

()年()組()番 名前_____

1 次の事柄は、性別の違いによってイメージがある事柄でしょうか。グループで話し合っ、下の表に分けてみましょう。

- ①料理が得意 ②スポーツが得意 ③ピアノが弾ける ④きれい好き ⑤リーダーシップをとる

男性のイメージ	どちらでもない	女性のイメージ

〈性のとらえ方〉

「あなたの性は何ですか？」と聞かれると、「男性」か「女性」のどちらかに分けて考えてしまいがちですが、実は、明確に「男性」と「女性」の2つに分けることはできません。

その人自身の性のありようのことを「セクシュアリティ」といいます。

セクシュアリティとは、人間一人一人の人格に不可欠な要素の集まりです。

その要素には、

- 「こころの性：自分自身の性別をどう認識しているか」
- 「からだの性：生まれ持った身体の性のこと」
- 「好きになる性：恋愛や性愛の対象となる人の性」
- 「表現する性：服装や性格、趣味や振る舞い方など」

セクシュアリティは多様で、下の図のようなグラデーションのようなもので、一人ひとり異なるのです。

セクシュアリティの構成要素



2 「性的マイノリティ」について考えてみましょう。

<性的マイノリティについて>

私たちのなかには、生物学的な性（からだの性）と性の自己意識（こころの性）が一致しない人、性的指向（人の恋愛・性愛がどういう対象に向かうのかを示す概念）が、同性や両性（男女両方）に向いている人などがいます。社会的には少数派となるそうした人たちのことを「性的マイノリティ」といいます。性的マイノリティのカテゴリーを表す言葉の一つとして「LGBT」があります。

Lesbian（レズビアン）	こころの性が女性で、好きになる性も女性の方
Gay（ゲイ）	こころの性が男性で、好きになる性も男性の方
Bisexual（バイセクシュアル）	好きになる性が男性にも女性にも向いている方
Transgender（トランスジェンダー）	「からだの性」と「こころの性」が一致しないために、「からだの性」に違和感を持つ方

あなたの学校で性的マイノリティの方がいるとしたら、どうしたら安心して学校で過ごせるとおもいますか。

<カミングアウトとアウティングについて>

カミングアウトとは、性的マイノリティの方から、ありのままの自分のことについて、打ち明けられることです。

アウティングとは、カミングアウトしてくれた内容を本人の同意なく、他の人に言ったり、公にしたりすることです。

カミングアウトは信頼している人に大切な秘密を伝えることです。アウティングは絶対にしてはいけません。

3 今日の学習をとおしてわかったことや、まわりの人の「その人らしさ」を大切にするためにあなたにできることを書きましょう。